

議員定数に関する意見交換会報告書

開催日時	令和3年6月26日(土)午後7時～9時
開催場所	議員協議会室(舞鶴市役所本館4階)
参加者	下記の団体から推薦いただいた7人 舞鶴市老人クラブ連合会、中舞鶴婦人会、 舞鶴工業高等専門学校、公益社団法人舞鶴青年会議所
出席議員	議長 山本治兵衛 副議長 今西克己 新政クラブ議員団 上野修身、鯛慶一、水嶋一明 創政クラブ議員団 伊藤清美、肝付隆治 公明党議員団 松田弘幸、杉島久敏 日本共産党議員団 伊田悦子、小西洋一 市民クラブ舞鶴議員団 鴨田秋津 会派に所属しない議員 仲井玲子

【次第】

- 1 開会挨拶(議長) 進行:副議長
- 2 舞鶴市議会の状況及び取組等の説明(議長)
- 3 各会派の考えの説明(各会派代表者)
- 4 参加者の御意見等の発言(参加者全員)
- 5 質疑応答等による意見交換
- 6 閉会挨拶(議長)

【各会派の考え】

会派名	議員定数に関する考え
新政クラブ議員団	2人削減(24人が適正)
創政クラブ議員団	現状維持(26人が適正)
公明党議員団	現状維持(26人が適正)
日本共産党議員団	現状維持(26人が適正)
市民クラブ舞鶴議員団	2人削減(24人が適正)
会派に所属しない議員	1人～2人削減(24人～25人が適正)

【参加者からの御意見】

≪削減すべきでないとの意見≫

- ・ 当市は国防にしても保安庁の海難の問題にしても、官庁が置かれているように非常に重要な場所である。
- ・ 議員は地元の問題など真剣になって動いてもらった。減らすことがよいということではない。
- ・ JMUも縮小し人もいなくなってきた。舞鶴は大変な地域である。
- ・ 他市と比較すると、議員数が多い感じは受けるが、いろんな面で舞鶴をよくしようと思っている方には現状で頑張ってもらいたい。

- ・ 意見交換会に来る前は「2人減」と考えていたが、いろいろな意見を聞いて「現状維持」と変わった。
- ・ 急速な人口減少によって、いつかは議員を減らさなければいけない状況になるとは思うが、前向きに考えてもよいのではないかと思う。
- ・ 課題解決には、より多くの人数で考えることで、多角的視点から多様なアイデアが生まれる。
- ・ 分業により一人一人の負担を軽減し検討時間を確保することで、一人一人の能力発揮の可能性も増える。
- ・ 人口からしたら議員数は少し多いのかと数字としては見られるが、今、舞鶴市では人口減少が進んでいて、その上で議員定数を減らすよりも、現状の26人の議員で頑張っって舞鶴市の人口減少を抑制してもらう方が舞鶴市のためになる。
- ・ 議員が頑張ってもらえば、舞鶴市の人口減少を抑制できると思う。

《削減すべきとの意見》

- ・ 提供資料に基づき検討した。他市と比較し議員報酬がかなり高額。前回2減としたが、市予算全体も減っているから議会運営費の割合が減らない。
- ・ 人口減少から「2人減」が妥当。若干は市予算に対する議会運営費の割合も他市に近づくのではないか。
- ・ 当市が複眼都市であることが議員活動の時間的なもの（活動時間が多い）に出てくるのではないか。
- ・ 議員は頑張ってもらっている。それなりの報酬をもらうのが妥当。ただし、議会運営費が多いのは問題。
- ・ 活動の質、中身は分からないところがあるが、提供資料を見ると、近隣市町、人口・面積・財政規模が近い団体と比べ舞鶴市が一番多い。これらのデータに鑑み、「2人以上の減」が私の考えである。
- ・ 皆さんの意見を聞くと「人口が減ると議員定数も減らす」という点に関しては、皆さん了承されているかと思う。その中で、人口が何万人を切ったから議員定数を何人減らすというのではなく、その時々で情勢を見ながら話すべきである。
- ・ 近年社会情勢はすごいスピードで変わっている。舞鶴市としてもそれに対応できる形で判断してもらいたいと思う。いろいろな観点から、今回は削減がよいのではと考える。
- ・ いろいろな観点から、増やすべき時は増やすべきであり、その時々で考えていく。

【意見交換の概要】

Q. 今回現状維持としたとして、人口減少が進み、議員定数が一挙に4～6減となっても対応できると思われるか。（議員から参加者への質問）

A 1. 委員会の効率化やIT活用・使いこなすことによって可能だと思う。

A 2. あくまでイメージだが、大きく減った場合、そこで工夫も生まれるのではないか。

A 3. 常任委員会を3にするなど、運営方法を工夫することで可能と考える。

Q. 小学校区に1人や地域代表といった、地元意識をどの程度重んじられているか。(議員から参加者への質問)

A 1. 高齢化もあり、地域の議員を頼りにしている。地域での活動をしている、地域に根差した方に何かあれば相談もする。

A 2. 祖父、父の時代は地域代表のような思いがあったと思う。今は、地域の在り方も変わってきた。地域の集まりに参加するのは昔から居る地元の者。転入者や若者は参加もしない。このような中、地域の代表という考え方もあろうが、今後はもう少し広げた形でも行っていけるのではないか。

A 3. 昔は地元で議員がいないと請願もできなかった。

A 4. 議員の活動能力が問われる時代と思う。「検討します」だけの議員が多すぎる。我々が欲しいのは、「実行」「回答」。そのような議員を選びたいと思う。

Q. 利益誘導型の議員か公正公平に行政を監視する議員か。皆さんは、議員にどのような役割を求められるか。(議員から参加者への質問)

A 1. 私は田舎なので、地元議員と言うのが大変なじみ深い。地元選出議員は地元の味方をしてくれる気がする。地元議員がいるのは心強く安心感がある。

A 2. 意見交換会などがあれば、議員の言いたいことも聞けるし、こちらの要望も言える。地元議員の力添えで、いろいろな意見交換会のような形ができればよいと感じる。

A 3. 現在町内会長をしており、これまで議員とどういう関わりを持てるのかよく分からなかったが、ごみ集積所の件で議員にお世話になった。町内会長として担当課に電話しても相手にしてくれなかったが、議員を通すとすぐ動いた。

A 4. 市が大きな問題に対して取り組んでいるのは理解している。町内や個人レベルのことで、(議員と) どういう携わりが持てるのか、逆に教えてもらいたい。もっと接点を持ってもらいたい。

A 5. 私の地域では、議員が議会報告をしてくれ活動がよく分かってありがたい。安心して市にも世話になっている。

A 6. 議員活動の在り方について質問されていたと思う。議員には、市民の小さな声が届きにくいことがあると思う。古い考えだが、地域から議員を出すという考えもありだと思う。地域に議員が1人いることで、地域の子供たちも市議会や政治への関心が深まり、信頼も生まれる。小さな声も聴いてもらうために、地域に1人議員がいればよいと思う。

【今後の予定】

市民の皆様からの御意見も踏まえて、議員間で議論を重ね、令和3年11月に、議会としての考え（結論）を取りまとめる予定。